

グリーン社会実現に向けた研究の推進・外部研究機関との連携

(研究期間：令和5年度～)

グリーン社会実現研究推進本部

本部長 所長 福田 敬大

事務局 インフラ情報高度利用技術研究官 大城 温

気候変動適応研究部会 水防災システム研究官

吉田 邦伸

(キーワード) 地球温暖化、気候変動、グリーン社会、環境行動計画、研究連携



1. グリーン社会実現研究推進本部の活動

国総研では、「国土交通省環境行動計画」に基づく環境研究を組織横断的に推進するため、「国総研グリーン社会実現研究推進本部¹⁾」(以下「グリーン本部」)を2023年7月に設置し、組織の枠を超えた連携・協力を推進している。

2. 国総研内の組織横断的な研究の推進

グリーン本部の設置以降、年4回のペースで本部会議を開催し、環境に関する政策・研究の動向等について、情報共有、意見交換等を行っている。

また、グリーン本部事務局が調整役となって、令和7年度から土木・建築の両分野の研究者が参画する総合的な研究プロジェクトの開始を予定しており、具体的な研究課題における連携も進んでいる。

3. 外部の研究機関との連携

(1) 環境研究機関連絡会

環境研究機関連絡会に参加する13機関が開催した「研究交流セミナー²⁾」(2024年11月)に、国総研から所長及びDX研究官が出席し、「住宅・インフラ分野におけるグリーンイノベーション施策を支える研究開発」について紹介するとともに、各機関からの参加者とディスカッションを行った(写真-1)。



写真-1 研究交流セミナーでの口頭発表

(2) 気候変動適応に関する研究機関連絡会議

本連絡会議の参加機関の研究者等により「気候変動適応の研究会」の研究発表会³⁾が毎年開催されている。2024年12月の研究発表会では、河川研究部水防災システム研究官が「インフラ分野における衛星活用リモセン技術の社会実装に向けた検討状況」と題して、国総研の取組を紹介した。

(3) 環境分野の研究者同士の意見交換

「つくば生きもの緑地ネットワーク」として筑波研究学園都市の生物多様性を守る活動を行っている国立環境研究所の研究者が9月に来所され、構内を視察するとともに、土木研究所と合同で生物多様性保全に向けた取組紹介や意見交換を行った(写真-2)。

☞ 詳細情報はこちら

- 1) 国総研グリーン社会実現研究推進本部
https://www.nilim.go.jp/japanese/organization/gx_nonbu/indexgx.htm
- 2) 第6回環境研究機関連絡会研究交流セミナー
https://kankyorenrakukai.org/seminar_06/
- 3) 令和6年度気候変動適応の研究会 研究発表会
<https://adaptation-platform.nies.go.jp/ccca/conference/2024/1217/index.html>
- 4) つくば生きもの緑地ネットワーク 活動報告
https://www.nies.go.jp/biology/greenareas/activity_record.html



写真-2 国立環境研究所の研究者との意見交換